

獣医師

健康福祉局
保健衛生部
食肉衛生検査所

加藤 寛

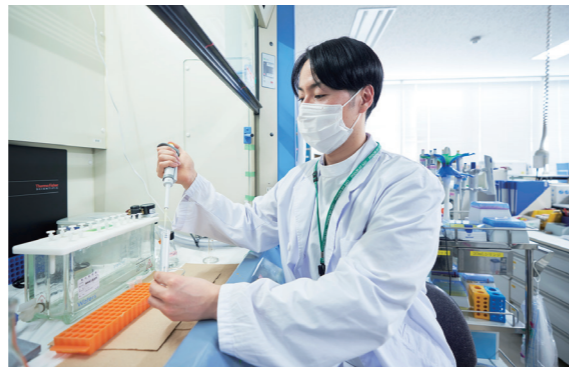
仙台市出身
平成30年度採用

主に、食肉や食品の安全性を確保するため、食肉衛生検査や食品衛生に関する監視指導業務に携わるほか、動物の飼育や健康管理、環境保全に関する調査・研究などの業務に従事します。公衆衛生分野である食肉衛生検査所、衛生研究所、食品監視センター、各区の衛生課のほか、動物愛護の業務を行う動物管理センター、動物の診療を行う八木山動物公園など、配属先は多岐にわたります。



獣医師としての専門性を幅広く生かすために。

公務員の獣医師と動物病院勤務の獣医師の主な違いは、公務員の場合、動物の治療に限らず食品や公衆衛生など幅広い分野で活躍できる点にあります。加藤さんが担当している「と畜検査」は、食肉の安全性を確保するための検査で、家畜の生体検査・解体検査などを行い、安全性が認められた食肉だけが市場に



出荷されるようにします。「1日の平均で牛は約100頭、豚は約400~500頭搬入され、それぞれ5~6名のチーム体制で検査を行います。獣医師としての専門的知識を生かしながら、市場

関係者や食肉の解体業者と協力して仕事に取り組むことにやりがいを感じます。また、獣医師同士で所見や検査について意見を交わすのも楽しいです。動物病院では外部機関と協力して仕事をする機会は多くないので、その点が今の業務との違いだと感じています」。一方、業務の中で特に気を付けているのは、「できること」と「できないこと」の線引きだという加藤さん。「公務員は法律に基づいて業務を行うため、自分だけの判断で物事を進めると問題に発展してしまう恐れがあります。そのため何か疑問が出てきたら個人で判断せず、積極的に上司や同僚に相談するよう心掛けています」。

もともと動物が好きで、動物病院での勤務経験もある加藤さんは、数年おきの異動によって新鮮な気持ちを保てることも魅力に感じています。「現所属の前は動物管理センターに配属されていました。今後は保健所での食品衛生監視や動物園で動物の診療を担当する可能性もあります。異動を繰り返す中で自分に適性のある業務を見つけ、獣医師としての専門性を生かして市に貢献していきたいと思っています」。



Private

体を動かしたいと思っていたときに観た平昌オリンピックがきっかけで、4年ほど前から本格的にカーリングを始めました。県内に専用リンクがないので、週末は岩手や青森、北海道に遠征して練習しています。

One day Schedule

- 8:30 出勤
と畜検査
- 12:00 昼休憩
- 13:00 と畜検査
- 16:00 事務作業
- 17:15 退勤

※月毎にシフトが決まり、日々異なるスケジュールとなりますが、基本は上記のとおりです。シフトが豚現場か牛現場かでも異なり、その日のと畜頭数によっても変化します。